

日本計量新報

計測と科学
毎週日曜日発行
日本計量新報社
東京都千代田区神田錦町3-11-8
(武蔵野ビル)
〒101-0054 TEL 03-3295-7871
FAX 03-3295-7874
http://www.keiryu-keisoku.co.jp/
振替口座 00140-5-12935
購読料年間25,000円(消費税別)

定量計量専用機

Pack NAVI

速くハカル、
楽にツメル



Yamato
大和製衡株式会社 tel:078-918-6577
http://www.yamato-scale.co.jp/

第16回全国計量士大会

「新計量制度に対応する計量士の使命」テーマに

2月23日(金) ホテルインターコンチネンタル東京ベイで

日本計量振興協会(日計振)は「第16回全国計量士大会」を、2月23日(金)、東京都港区のホテルインターコンチネンタル東京ベイで開催する。今回のメインテーマは「新計量制度に対応する計量士の使命」。計量法政省令が改正され、指定検定機関の検定担当任務を始め適正計量管理事業所における自動はかりの計量管理など、計量士に新たな役割が加わり、取り巻く環境、期待される役割も大きく変貌していることに応じた。

各地区の気鋭の計量士が発表

「新計量制度に対応す」マ。初めての試みとして、計量士の使命」がテーマ。全国各地で活躍する計量士が事前に地区で取りあげた課題、将来展望などについて意見交換し、取りまとめた内容を各ブロックの気鋭の計量士を中心に発表する。

発表内容を基にフリーディスカッションし、意見交換で得られた成果は、関係機関等へアピールする等、将来に向けて、計量士を取り巻く諸課題の解決につなげていく。全国計量士大会は、同

計量士部会の企画立案のもと、計量制度の変化や技術革新に関する最新情報を提供することも、参加者相互の情報交換の場を設け、計量士の職域拡大と力量の向上を支援することを目的として開催している。



TANITA デジタルスケール TL-280
見やすいバックライト付大型表示
¥33,000(税抜)

【日時】2月23日(金)、13時30分～18時30分
【会場】ホテルインターコンチネンタル東京ベイ(〒105-8576、東京都港区海岸1-16-2、電話03-5404-1222)
【参加費】同会正会員所属計量士6000円、上記以外1万円
【募集人員】200名

【申込締切】2月5日(月)【申込・問い合わせ先】同会推進部(〒162-0837、東京都新宿区)

今週の主な記事

- ① 全国計量士大会、法定計量セミナー
- ② 計量関連機関年頭あいさつ・寄稿(中村邦光)
- ③ 田中館愛橋(3)
- ④ NMS研究会発表(3)
- ⑤ 社説、寄稿(野口泰助)
- ⑥ 団体・機関同新年会、全国計量士大会報告内容
- ⑦ ⑧ 面

新年特集号

第3集

交換した内容について取りまとめたもの) ①東北地区(安藤寿啓(山形県計量協会、計量士) ②関東地区(横須賀英樹(神奈川県計量士会、計量士) ③中部地区(廣瀬幸造(愛知県計量士会、計量士) ④近畿地区(吉永高志(京都府計量協会、計量士) ⑤近畿地区(山下裕之(大阪計量士会、計量士) ⑥九州地区(坂元一光(鹿児島県計量協会、計量士) (報告概要は⑧面)▽フリーディスカッション

【懇親会】17時～18時30分

2017年度法定計量セミナー

2月20日(火)、香川県産業技術センターで

産業技術総合研究所計量標準総合センター(NMI)は、香川県計量検定所、香川県計量協会と共催で、2017(平成29)年度法定計量セミナーを、2月20日(火)、香川県高松市の香川県産業技術センターで開催する。

【参加募集締切】2月6日(火)(定員に達しだい締切)

【会場】香川県産業技術センター本館3階研修室(香川県高松市郷東町5-87-1、http://www.pref.kagawa.lg.jp/sangi/01/map.html)

【問い合わせ先】香川県計量検定所(電話087-881-2517)▽香川県計量協会(電話087-882-5056)

【参加申込】香川県計量検定所へ申し込む。

【プログラム】

▽講演1「計量制度の見直しについて」川原英彰(経済産業省産業技術環境局計量行政室) Ⅱわが国の計量制度は、国民の生活・経済社会における取引の信頼性を確保し、安全・安心の基盤として機能している。一方、技術の進展等状況変化に対応することが求められている。それら社会変化する状況を踏まえ、2017(平成29)年度政省令改正がおこなわれた。その計量制度の

見直しについて解説する。

▽講演2「自動はかりの使用状況について」食品工場における自動はかり(金本啓嗣(鎌長製衡営業本部長) Ⅱ特定計量器に含まれる自動はかり4器種のうち、ホットパスケール、充填用自動はかり、コンベヤスケールを中心に、それぞれの構造や飼料工場のフロー図を用いて、その使用用途および計量方式を簡単に紹介する。

▽講演3「自動はかりの技術基準について」高橋はかり(自動捕捉式はかり・ホットパスケール・充填用自動はかり・コンベヤスケール)の技術基準の概要について紹介する。

温度・湿度の校正はSATOK

株式会社 佐藤計量器製作所

〒150-0001 宮城工場

本社 03-3554-1111
仙台 022-254-1111
富山 076-441-1111
150001 宮城工場

高分解能の追求 最小表示1μg

- 無風イオナイザー標準装備 ※特許申請中
- 導電性ガラス風防採用
- フィルター用計量皿標準付属 (BM-20/22のみ)
- クロスライドドア
- USBとRS-232Cの2方式インターフェースを採用

6機種をご用意
ひょう量: 22g~520g
最小表示: 0.001mg~0.1mg
標準価格: ¥320,000~¥800,000(税抜)



高精度分析天びん BM シリーズ